

杉並区教育長 白石高士 殿

東京パラリンピックへの学校連携観戦実施の中止を求める申し入れ

2021年8月19日

日本共産党杉並区議団

日本共産党杉並区議団は、2回にわたってオリンピック、パラリンピックへの児童生徒の観戦動員を中止するよう求めてきましたが、あらためて、パラリンピックへの観戦動員を中止するよう申し入れます。

杉並区教育委員会は、東京都の意向をうけ、区内小中学校に対し、パラリンピックへの児童生徒の観戦希望調査を行い、あくまでも児童生徒の観戦を実施しようとしています。

しかし、都内の1日の新規感染者は、オリンピック開会式時点の1359人から、昨日時点は5386人と4倍近くに急増し、感染の爆発的拡大という事態を迎えています。児童生徒の命と健康を守ることを優先すべきであり、たとえ希望者がいたとしても、大災害ともいえる状況下で児童の観戦動員を行うことは、到底許されません。

また、児童生徒のなかで、観戦した児童生徒と、観戦しなかった児童生徒に分かれることは、学校生活のうえでも到底好ましいものではありません。

さらに、学校関係者、保護者からも、希望を募ってパラリンピックに動員するやり方に、批判の声がわきあがっており、その声を無視して観戦を強行することは許されません。

しかも、昨日開かれた東京都教育委員会でも、出席した4名の委員全員が中止を要求しました。本日の参議院内閣委員会で、政府の分科会の尾身茂会長は「今の感染状況はかなり悪い。そういう中で考えていただければ、当然の結論になると思う」と慎重な対応を求める発言をしています。

現時点で、参加自治体は、わずか7自治体に減少しています。

よって、日本共産党杉並区議団は、パラリンピックに対する学校連携観戦の取組中止をすみやかに決断し、各学校に通知するよう、強く申し入れます。

以上